

1. 科目名 (単位数)	児童・家庭福祉論 (2単位)	3. 科目番号	SSMP2102						
2. 授業担当教員	西村 彩恵		SBMP2302						
4. 授業形態	講義、グループディスカッション、演習、プレゼンテーション、学外調査	5. 開講学期	春期/秋期						
6. 履修条件・他科目との関係	児童・家庭福祉論Ⅱを履修予定のものは、履修しておくことが望ましい。								
7. 講義概要	急速に進む少子高齢社会に対応した児童や家庭に対する支援と今後の児童・家庭福祉のあり方について、子ども家庭福祉の原理、理念、権利保障、子ども家庭福祉にかかわる法制度、福祉・保健施策、子ども家庭への援助活動など、基本的なことを体系的に学習する。特に、子ども家庭福祉にかかわる施策分野については、グループでの学習を重視する。また、学外での調査も取り入れ、学生が教室内だけの理解から、地域や社会と関係した視点から問題が把握できるように援助する。併せて、社会福祉士国家試験に対応できる授業内容とする。 授業の進め方は、講義を基にグループでのディスカッション、演習等を多く取り入れたものにする。								
8. 学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢社会における子どもや家庭に対する支援の必要性を理解する。</li> <li>・子ども家庭の福祉の原理・理念・権利保障について理解する。</li> <li>・児童福祉の歴史について理解を深める。</li> <li>・子ども家庭の福祉にかかわる法制度及び具体的施策について理解する。</li> <li>・子ども家庭への相談・援助活動、地域援助活動等について理解を深める。</li> </ul> <p>現在の日本における児童・家庭福祉の課題について理解を深めるとともに、社会に出た時に活用できる発想法や分析方法、スピーチ・プレゼンテーションなど具体的手法、スキルを授業の中で身につける。</p>								
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. グループでの討議を行い、授業内容を踏まえて考察したものを提出する (各回実施予定)。</li> <li>2. 授業の理解度を確認するため、小テストを実施する (随時実施予定)。</li> <li>3. 授業の学習成果として、レポートを作成・提出する (「私が考える子ども家庭福祉について」)。</li> </ol> <p>グループディスカッション・発表を適宜行うため、真摯に学ぶ姿勢と主体的な参加が求められる。そのため、グループワーク・発表含む受講姿勢を、授業への貢献度として加味する。配布するプリントは、ファイリングして予習・復習の際に各自で活用すること。</p>								
10. 教科書・参考書・教材	<p><b>【教科書】</b> 社会福祉士養成講座編集委員会編集 『新・社会福祉士養成講座 15 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度』第7版 中央法規出版。</p> <p><b>【参考書】</b> 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 児童家庭福祉の全体像を、講義やグループ討議、レポート作成を通して理解し、説明ができるようになる。</li> <li>2. グループ活動を通じて、思考力を高め、問題発見・問題解決力などの能力を培う。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1 授業への積極的参加 (ディスカッション・発表)</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>2 日常の学習状況 (小テスト・小レポート・学外調査)</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>3 課題レポート</td> <td>総合点の40%</td> </tr> </table>			1 授業への積極的参加 (ディスカッション・発表)	総合点の30%	2 日常の学習状況 (小テスト・小レポート・学外調査)	総合点の30%	3 課題レポート	総合点の40%
1 授業への積極的参加 (ディスカッション・発表)	総合点の30%								
2 日常の学習状況 (小テスト・小レポート・学外調査)	総合点の30%								
3 課題レポート	総合点の40%								
12. 受講生へのメッセージ	<p>近年、少子化や子ども虐待、ドメスティック・バイオレンス、子どもの貧困、地域子育て支援の充実などの問題を受け、子どもを健全に育てるための施策の重要性が増している。子ども家庭福祉とは何か、なぜ重要なのかということについて考えていく (資料映像も適宜使用予定)。</p> <p>授業を進めるにあたり、下記の3つの項目に留意すること。また、授業の進捗状況・理解度、受講者数に応じて、授業内容等を変更する場合がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 遅刻、欠席に注意し、やむを得ず欠席する (した) 場合は書面で教員に届け出ること。遅延の場合は、遅延証明書を当日又は次回授業までに担当教員に提出すること。遅延の累積回数が多い場合は、遅延を認めないことがある。なお、出席状況の自己管理を徹底すること。</li> <li>2. レポートの提出期限を遵守すること。提出期限後の提出は、減点の対象となる。</li> <li>3. 私語や居眠り、学習テーマ以外の作業、グループ活動等での非協力的な姿勢、その他授業を妨げる行為は慎むこと。一連の受講態度は、減点の対象となる。</li> </ol>								
13. オフィスアワー	事前にメールでアポイントメントを取って下さい。メールアドレス: sanishim@ed.tokyo-fukushi.ac.jp								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	オリエンテーション: 授業の進め方について 子ども家庭福祉の理念	事前学習	配布資料を綴じるファイルを用意する。教科書 pp. 2~10 を事前に読み、子ども家庭福祉の理念について考えておく。						
		事後学習	授業内容をふり返り、子ども家庭福祉の理念と概念について要約し、自分の考えをまとめる。						
第2回	子ども家庭福祉の歴史の変遷と諸外国の動向	事前学習	教科書 pp. 19~32 を事前に読み、子ども家庭福祉の歴史の変遷と諸外国の動向について考えておく。						
		事後学習	授業内容をふり返り、子ども家庭福祉の理念と概念について要約し、自分の考えをまとめる。						

第3回	子どもの人権擁護	事前学習	教科書 pp.11～18、pp.116～121 を事前に読み、子どもの人権擁護について考えておく。
		事後学習	授業内容をふり返り、子どもの人権擁護について要約し、自分の考えをまとめる。
第4回	現代社会の子ども・家庭	事前学習	教科書 pp.34～53 を事前に読み、子どもや子育て家庭を取り巻く環境について考えておく。
		事後学習	授業内容をふり返り、現代社会の子ども・家庭について、自分の考えをまとめる。
第5回	子ども家庭福祉に関わる法制度と子ども・子育て支援制度の創設	事前学習	教科書 pp.56～121 を事前に読み、子ども家庭福祉に関わる法制度について調べる。また、国・県・市町村の役割について調べておく。
		事後学習	授業内容をふり返り、子ども・子育て支援制度について整理する。実際に児童福祉法や子ども家庭福祉に関わる行政機関を調べる。
第6回	母子保健	事前学習	教科書 pp.127～139 を事前に読み、母子保健について考える。
		事後学習	授業内容をふり返り、母子保健について自分の考えをまとめる。
第7回	子どもの健全育成 小テスト(実施予定)	事前学習	教科書 pp.156～164 を事前に読み、子どもの健全育成について考える。
		事後学習	授業内容をふり返り、現代社会の子どもの健全育成について、自分の考えをまとめる。児童館などを調べる。
第8回	多様な保育ニーズへの対応	事前学習	教科書 pp.47～53、pp.165～183 を事前に読み、多様な保育ニーズへの対応について考えておく。
		事後学習	授業内容をふり返り、多様な保育ニーズへの対応について、自分の考えをまとめる。
第9回	児童虐待、ドメスティック・バイオレンスとその防止	事前学習	教科書 pp.244～268 を事前に読み、児童虐待、ドメスティック・バイオレンスの防止について考えておく。
		事後学習	授業内容をふり返り、児童虐待、ドメスティック・バイオレンスの防止について、自分の考えをまとめる。
第10回	社会的養護	事前学習	教科書 pp.207～230 を事前に読み、社会的養護について考えておく。
		事後学習	授業内容をふり返り、社会的養護について、自分の考えをまとめる。
第11回	少年非行等への対応	事前学習	教科書 pp.231～243 を事前に読み、少年非行等への対応について考えておく。
		事後学習	授業内容をふり返り、少年非行等への対応について、自分の考えをまとめる。
第12回	障がいのある子どもと家族への対応	事前学習	教科書 pp.140～155 を事前に読み、障がいのある子どもと家族への支援について考えておく。
		事後学習	授業内容をふり返り、障がいのある子どもへの対応について、自分の考えをまとめる。
第13回	地域における連携・協働とネットワーク	事前学習	教科書 pp.270～292 を事前に読み、地域における連携・協働とネットワークについて考えておく。
		事後学習	授業内容をふり返り、地域における連携・協働とネットワークについて、自分の考えをまとめる。
第14回	少子高齢社会における子ども家庭福祉とは	事前学習	少子高齢社会における子ども家庭福祉について、各自情報を収集し、これまでの授業内容のふり返りを行う。
		事後学習	授業内容をふり返り、少子高齢社会における子ども家庭福祉について、自分の考えをまとめておく。
第15回	全体の総括	事前学習	第1回～第14回までの内容をふり返り、レポートの作成に備える。
		事後学習	第15回を含めた講義内容をふり返り、少子高齢社会における子ども家庭福祉について自分の考えをまとめる。
期末試験			